

## 予算の執行とその概要

平成26年度の国の予算編成においては、デフレ脱却・経済再生と財政健全化の両立の実現を目指すとともに、強い日本、強い経済、豊かで安全・安心な生活を実現するため、「成長戦略の実行」、「東日本大震災からの復興の加速等」、「個人の能力・個性を伸ばすための基盤強化」、「地域活性化・都市再生、農林水産業・中小企業等の再生、地方分権」、「安全・安心で持続可能な経済社会の基盤確保」の5項目について、取組を推進しようとするものでした。

しかしながら、日本の経済再生に向けた「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」の一体的推進により、大都市を中心に景気の回復基調が続き、デフレ脱却へ向けて着実に前進しているものの、「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」の効果、消費税率引き上げの影響を含めた物価の上昇に家計の所得が追い付いていない状況、また、少子高齢化による人口減少問題などから依然として厳しい状況が続いています。

こうした状況にあって、本市においては、引き続き「過疎対策事業（ソフト事業）」の活用を図りながら、地域の活性化や雇用対策、市民生活の安定化、将来のまちづくりにおいて成長力を高める施策など、持続性、独自性、発展性の観点から必要とされる事業に加え、道の駅を拠点とする「にぎわい」創出プロジェクト事業、公共施設の耐震化事業、地域おこし協力隊の増員など、生活向上と市内経済の活性化を目指し、「人と経済」を政策の基軸とした各種事業を展開するための予算を計上しました。

予算の執行に当たりましては、「第5次芦別市総合計画・実施計画の目標と施策の達成」と「芦別市行財政改革推進計画」により、地域の活性化と雇用の確保、生活環境の向上、地域の振興に資する社会資本整備事業（消防総合庁舎建設、道路・河川整備、公営住宅建設、森林環境保全整備、教育施設整備）や福祉、医療・教育の充実に鋭意努めてまいりました。